

第43回東京ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理事業環境安全委員会(書面開催) 概要

議題1 2019年度下期の操業状況

・2019(令和元)年度の操業状況は、排水中ダイオキシン類超過トラブルがあり、42日間の停止がありましたが、搬入停止した変圧器、コンデンサー等につきましては、昨年12月までに搬入し、2019(令和元)年度の処理実績につきましては、計画を概ね達成できました。

計画的処理完了期限の2022(令和4)年度末までの処理完了には、現状において十分余裕がある状況です。

資料-1、添付資料(資料-1 図4~6)

・2019(令和元)年度の環境モニタリングの状況は、上記の排水中ダイオキシン類超過が上期に発生した以外は、全ての項目で協定値や基準値を満足しております。

排水中ダイオキシン類トラブルの再発防止対策につきまして、操業停止から再稼働した後に調査を行った結果、対策の効果が確認できております。

2019(令和元)年度のトラブルはこの1件だけでした。安全と環境を最優先に処理を進めております。

資料-1、資料-1別紙2

議題2 長期保全計画に基づく2019年度設備保全実施項目

・設備の健全な稼働を維持するために、長期保全計画を策定して、効率的・合理的に保全を進めております。計画された2019(令和元)年度の設備保全の実績を基に適切に見直しをかけ、2020(令和2)年度以降の計画に反映させて設備保全を進めてまいります。

資料-2、資料-2別紙1

議題3 東京PCB処理事業所2020年度これまでの操業状況と設備保全の実施状況

・2020(令和2)年度長期保全計画に基づき、2020(令和2)年5月11日から定期点検にて設備保全を実施しました。当初、6月15日を終了予定としておりましたが、新型コロナウイルスの影響により定期点検工事の準備段階から工程の調整に遅れが生じたため、工程を見直し7月4日まで期間を延長しました。また、プラントの安全、安定操業に影響しない部位においてはありますが、メーカー技術者が新型コロナウイルス緊急事態宣言の影響で来所できないという理由で点検整備が未実施となったものがありましたが、予備品を手配して自営保全による部品交換で対応したり、応急補修して監視強化する対応をとったりしております。また、予防保全として計装設備のシーケンサを昨年購入し、更新を計画していましたが、次年度の定期点検に変更するなどの対応を行っており、安全・安定操業に影響はありません。

資料-3、資料-3別紙1

議題4 リン含有 PCB 油の処理について

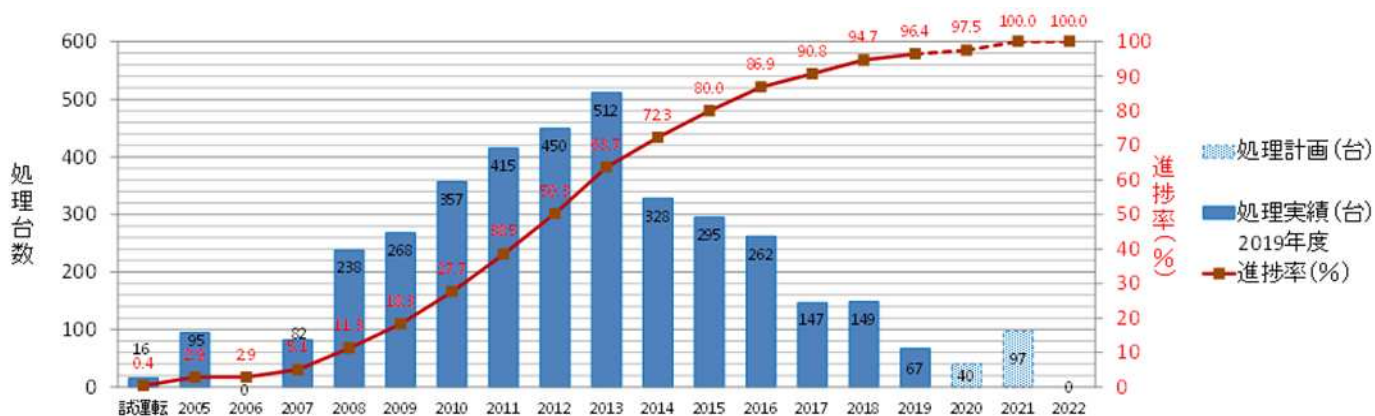
・リン含有 PCB 油の処理につきましては、2020(令和 2)年 1～3 月の試運転で、性能と環境・安全性を確認できましたので、4 月より本格処理を開始しており、現在までのところ問題なく処理ができております。

資料－4

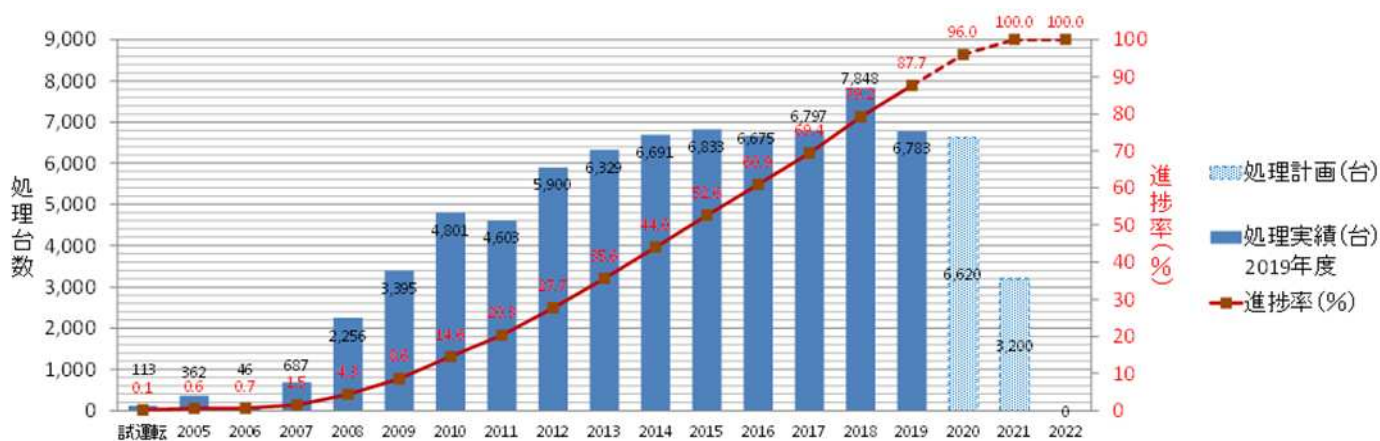
議題5 トラブル報告(給水加熱器差圧大による水熱反応器停止に係る原因と再発防止対策)

・2020(令和 2)年 8 月 4 日 0 時 14 分に給水加熱器差圧大による水熱反応器緊急停止トラブルを発生させてしまいました。緊急停止に至った給水加熱器の閉塞は、ヒューマンエラーにより、軟水装置の硬度成分を含む再生水を給水系統に混入させてしまったことにより発生したものです。手順書を見直し、教育、注意喚起の現場表示等の対策を行い、再発防止をはかっています。本事案による環境への影響や人身への影響はございません。

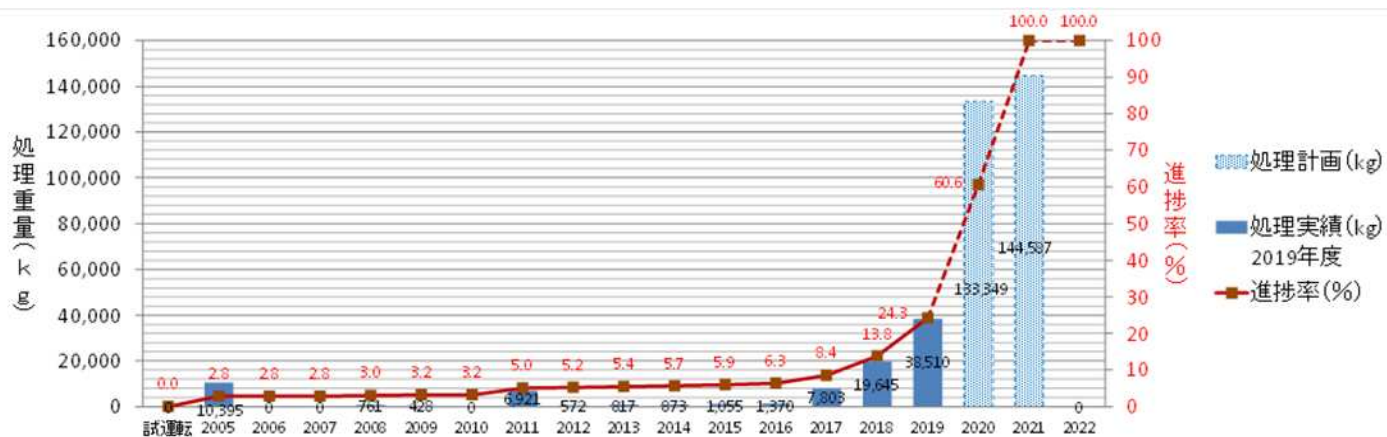
資料－5



資料-1 図4 変圧器操業開始時からの処理実績と今後の処理計画



資料-1 図5 コンデンサーの操業開始時からの処理実績と今後の処理計画



資料-1 図6 廃PCB油操業開始時からの処理実績と今後の処理計画